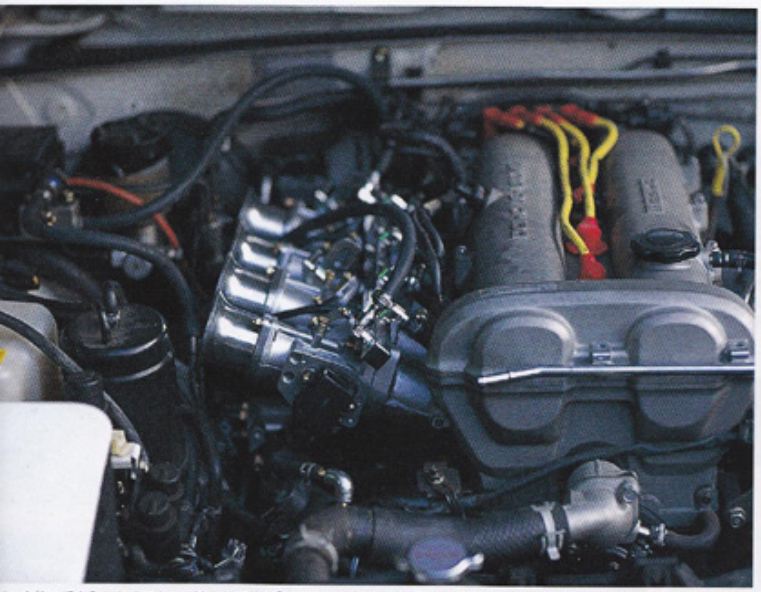
Sports Injection by TRIAL

スポーツ・インジェクション　byトライアル

トライアルプロジェクト
大阪府堺市八下町４丁102-9　☎0722-54-9777

好評のＢ６用スポーツインジェクションに加え、新登場したＢＰ用の４連スロットル。最近改良されたＢ６用のスポーツインジェクションと同じで、スロットルセンサーにＧＴ－Ｒ用のものを流用し、バタフライの主軸にセットしたことで、より確実に細かい制御ができるようになり、中低速のレスポンスはかなり鋭い。また、４連の宿命である低速トルクの細さも、オリジナルＣＰＵで低回転時の燃料を絞ることで解消している。価格は20万8000円（ＣＰＵは別売。23万5000円）。



ジン本体に手を入れなくても、４連だけで約10%はパワーＵＰ。排気系との相乗効果でレスポンスも大幅に向上する。

4連スロットルでパワー&レスポンスとフィールを向上！

ロードスターのパワープラント、特に1800BPのド・ノーマルは、マッタリとした吹けあがりのツインカムらしくないエンジンで、オーナーにとってタコ足&マフラーなどの排気系パーツの交換をやるというのは、基本中の基本。しかし、問題のフィーリング&パワー不足はこれで解決というワケにはいかなくて、まだまだここが出発点でもある。

じゃあ、排気系のチューンの次は、どこをいじればいいのか？　もちろん、いきなりエンジン本体のチューニングに突入してもいいとは思うけど、その前に吸気系もチューンして、すでにチューン済みの排気系との相乗効果を目指してみたらどうだろう。

吸気系のチューンというと、エアクリーナーを交換してハイおしまい!!というヒトも多いだろうけど、もう一歩踏み込んでキャブや4連スポーツインジェクションを装着し、バタフライの面積を拡大し、吸入空気量を増やしてやるというのは、非常に有効なチューニング手段だ。

そこで今回は、トライアルのマッキー牧原がプッシュする、BP用の4連のスポーツインジェクションを紹介しよう。

ノーマルの吸気系は、エアクリーナーボックスの入り口から空気が入り、まずは吸気抵抗となるエアクリーナーを通過し、そこから長いダクトを通じて、ようやくスロットルに空気が到着する仕組みになっている。そのために、アクセルを踏み込んでからエンジンがパワーを発揮するまでのレスポンスが、どうしても鈍くなってしまう。

そこでファンネル付きの4連に変えてやれば、吸入抵抗が激減するだけでなく、吸気系全体の長さが短くなって、レスポンスがグ～ンとよくなるというわけだ。しかもノーマルのシングルスロットルに比べ、各シリンダーごとにスロットルバルブが付くので、最大吸入空気量が増え、必然的にパワーもアップする。

ただ、スロットルバルブの面積が増えるために、低速時に吸入空気の流速が落ち、低速トルクが若干落ちてしまうというデメリットもある。が、BPの場合、排気量が増えた分、B6より気難しい印象を受けることはないはずだ。

また、4連のスポーツインジェクションでよくなるのは、パワーとレスポンスだけではない。刺き出しのファンネルからの吸気音だってかなり迫力のあるものに変化して、中高速からアクセルを踏み込むと、身体で加速Gを感じつつ、耳でも加速を楽しめるようになる。

もっとも、このへんの特長は、キャブ仕様でも同じなんだけど、キャブとスポーツインジェクションの最大の違いは、メンテ&セッティングの方法にある。

キャブの場合、基本的に他動的なシステムなので、きちんと装着してからも気圧や気温の変化などで空気密度が変わってくるならないという煩わしさがある。そのうえ、同調がしっかり取れてなかったりするとアイドリングからバラけてしまうなど、使いこなすにはそれなりの知識が必要になってくる（もちろん、キャブにはキャブで、セッティングの幅が広いなどのメリットもたくさんあるんだけどね）。

その点、スポーツインジェクションの場合はCPUを生かしているので、季節や気候によってセッティングを変える必要はないし、エアコンをONにしても、アイドリングが乱れるようなこともない。

ただし、キットの他に、スポーツインジェクションに合わせたコンピュータチューンは必要になる。トライアルの4連は、エアフロを外してスロットルセンサーで吸入空気量を計測するので、基盤から作り直したオリジナルのCPUでコントロールするのが基本だ。このCPUとセットで使えば、特にセッティングに苦労するようなことはなくて、日本全国どこでもスポーツインジェクションの性能を100%引き出すことができるという。

その結果、エンジン本体に一切手を加えることがなくても、約10%はパワーアップするはずで、排気系チューンと合わせれば150psオーバーは確実になってくる。もちろん、あとからエンジン本体をチューンしてもCPUロムの書き換えで対応できるし、インジェクターも200psまでノーマルでOK!!。

（藤田直人）

排気系の次は吸気系がイイで～

「スポーツインジェクションなら誰でも高性能を引き出せる」とマッキー。